

日本茶道の魅力を発信

大宮浦高会
 県立浦和高校の地域同窓会「大宮浦高会」（今村正道会長）は社会貢献事業の一環として、「日本の盆栽水石至宝展」に参加。日本造園組合連合会県支部青年部が演出した日本庭園「涼風庵」の中で、「日本伝統文化おもてなしコーナー」を担当し、抹茶を振る舞って日本茶道の魅力を発信した。

今村会長と世界盆栽大会の加藤初治実行委員長が同高の同期ということもあり、大会を全面的に支援。大日本茶道学会正教授の斎藤和樵（わしよつ）さんらを招き、来場者に抹茶を提供した。用意して

いた千杯は全てなくなり、盛況となった。

今村会長は「世界盆栽大会には国内外から多くの方が訪れ、日本の伝統文化を発信する良い機会だった」と笑顔で話した。（三宅芳樹）

「日本伝統文化おもてなしコーナー」で茶道関係者と談笑する大宮浦高会の今村正道会長（右）

30日午後、さいたま市中央区のさいたまスーパーアリーナ



【埼玉新聞 5月1日、記事】



【同掲載された写真】